

第3回 CO2 環境対策技術研究会

日時：2009年4月23日(木)13:00~17:00

場所：流山市クリーンセンター

第3回研究会は廃棄物焼却場を見学し、廃棄物焼却場の最新の状況を視察した上で、「廃棄物焼却場のCO2対策の現状と課題」についての講演を聞かせて頂く企画とした。

今回は流山市さんの後援を得て、流山市の職員にも参加して頂く勉強会として実施したものである。

スケジュールと内容は以下のとおりである。

1. 集合：2009年4月23日(木)13時 集合場所：総武流山電鉄流山駅

2. 見学会：13:30~15:00 流山市クリーンセンター

3. 講演会：15:20~16:50

会場：流山市クリーンセンター内会議室

演題：「廃棄物焼却場のCO2対策の現状と課題」

講師：パシフィックコンサルタンツ(株) 石川 禎昭氏

4. 交流会：17:30~19:00 新松戸「一源」



見学会の前に、施設内容について説明を聞く
見学会、講演会参加者は15人
講演会には他に流山市の職員が聴講された。

施設名称：流山市クリーンセンター

所在地：流山市下花輪191番地

敷地面積：約4.4ha

施設規模：リサイクルプラザ 5,262m²

ごみ焼却施設 5,798m²

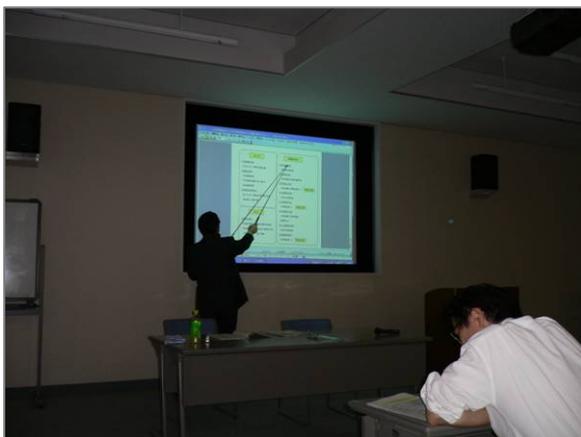
溶融焼却設備：ガス化溶融炉(流動床式)

余熱利用設備：発電(最大3,000kW)、給湯、冷暖房、地域融和施設に供給予定



施設内の見学
施設は全て見学通路から窓越しに見ることが出来る。

見学後の質疑応答は流山市の職員と講師の石川さんが丁寧に回答して頂き、長時間にわたり熱心な質問があった。



石川講師の講演と熱心に聴講する参加者



講演終了後、新松戸へ移動して講師を囲んで交流会を実施した。参加者 13 人

講演内容は以下のとおり

第 1 部 ごみ処理とCO₂発生量と課題

1. CO₂削減に係る法律
2. ごみ焼却炉の機種とCO₂発生量
3. ごみ処理とCO₂削減対策
4. ごみ焼却施設でのCO₂発生量計算事例

第 2 部 CO₂削減の展望

1. ごみ焼却施設での要素技術によるCO₂削減
 - 1)省エネ機器の導入
 - 2)エマルジョンバーナの導入
2. 焼却排熱の高度有効利用によるCO₂削減
 - 3)高効率ごみ発電
 - 4)スーパーごみ発電
 - 5)オフライン(PCM)方式による熱宅急便
3. 国(環境省)の補助内容

講師からスーパーごみ発電やオフライン方式による熱宅急便について、熱心に説明が行われ、質問も多かった。会場の時間の制約から、交流会に場所を移し、ここでも熱心に議論が行われた。交流会に参加されなかった参加者からも講師のメールアドレスの問い合わせがあるなど、好評な講演であった。

以上

内藤 堅一記